



-解脱会太陽精神碑-

# かけはし

## ～ この夏の思い出！汗・涙・絆 ～

### ★ 埼玉県大会 ★



- ◎ 第8回埼玉県道場対抗優勝大会  
混成団体 優勝(4連覇) 全国大会出場  
解脱チーム 栗原・伊藤・小林・吉田・関根  
北本チーム ベスト8  
谷口・新井・小野・上野・柳
- ◎ 第8回埼玉県道場少年剣道選手権大会(小・中学生女子の部)  
中学女子の部 準優勝 小林洋菜(中3) 全国大会出場  
小学女子の部 第3位 谷口美月(小6)  
第3位 小嶋紅音(小6)

### ★ 前期稽古納め ★

御夫婦で参加頂きました  
小二田夫妻。

今回のかけはしは、夏の大会・行事報告とし掲載させて頂きました。

◎6月29日に開催された埼玉県道場対抗優勝大会では、解脱チームが優勝し見事、4連覇を達成しました。この大会は、小学生から一般までの混成チームでの団体試合で、道場としての総力が試される絶対に負けられない大会の一つでもあり、今年も9月北海道で開催される全国大会に道場日本一を目指して出場します。続いて同日に開催されました、埼玉県道場少年剣道選手権大会女子の部では、中学女子の部で小林洋菜君(中3)が準優勝し全国大会出場の切符を手に入れました。

◎7月13日に前期稽古納めが行われ、全クラス合同で早朝5時半から7時までの稽古、眠い目を擦りながら道場に集合し、いざ始めれば顔つきが変わり気合の入った稽古となりました。その後、後援会保護者・一般部・少年部が猛暑の中、2時間あまり感謝の気持ちを込めての大掃除を実施し、道場が綺麗になると同時に自分の心も磨く、有意義な大掃除となりました。掃除終了後には、OB門下生が中心となって楽しく大屋食会、焼肉・焼きそば・おにぎり、門下生はお腹いっぱい食べる事ができ、更に、この会には、解脱会人事異動により7月1日付で錬心館から御霊地管理部に移動になりました小二田紀一職員と奥様を招き、長年に於ける錬心館への御尽力に対し、感謝の気持ちを込めて記念品の贈呈があり、その後も和気藹藹と心温まる前期の稽古納めとなりました。これも参加頂きました先生方は勿論の事、後援会、OB門下生の念入りな準備を重ねて頂いたお蔭であります。皆様ありがとうございました。

◎7月28日に開催された全日本少年少女武道大会では小学生が見事、5年ぶり4回目の優秀賞(優勝)を手に入れました。おめでとう。(詳細、写真は中ページ掲載)

◎7月30日・31日に開催された全国道場少年剣道大会では、中学生団体でコート決勝を大将戦の末、勝利しコート優勝を果たし、見事2年連続ベスト16に入り、続いてベスト8を賭けた試合では全国屈指の大阪府・小曾根剣友会と対戦しました。中学3年生にとっては、このメンバーでの最後の試合であり、一人ひとりが気迫のこもった素晴らしい試合を展開しましたが惜しくも力及ばず敗退してしまいました。結果はベスト16、大目標の日本一には届きませんでした。結果だけが全てではなく門下生諸君が毎日、日本一を目指し努力してきた事が何よりも大切な事であり、決してこれが終わりではない、今まで以上に素直に学び、今回の結果を活かして今後の益々の努力精進を期待しています。

(詳細、写真は中ページ掲載)

## 行 事 予 定



### 《9月》

#### ○ 館の行事

※稽古休み 7日(土) ※受入行事の為

#### ○ 大会・審査会

- 1日 称号・八段受審者講習会(一般・大宮)
- 5日 埼玉連月例稽古会(一般・上尾)
- 8日 剣道指導者講習会(一般・大宮)
- 15日 第59回全日本東西対抗剣道大会(山梨)
- 15日 第9回全日本都道府県少年剣道優勝大会(小中代表・大阪)
- 16日 第29回わらび剣友会招待親善試合(小中代表・蕨)
- 21日 第11回埼玉県大会小学生の部(小学代表)
- 22日 第31回全国道場対抗剣道大会(小中・一般代表・北海道)  
全国道場少年剣道選手権大会(小中代表・北海道)
- 22日 六・七段受審者講習会(一般・大宮)
- 30日～10月1日 第68回国民体育大会(東京)

#### ○ 受入行事

- 8日 みどり祭り ※雨天時のみ(解脱会)
- 29日 東京第一教区こども大会(解脱会)

### 《10月》

#### ○ 館の行事

- 13日 第163回秋季大祭参加(全門下生) 10時集合  
※稽古の出来るしたくでご参加下さい。尚、解脱会より記念品とお弁当が  
出ます。
- 19日 第41回解脱選抜少年剣道錬成大会(主催大会)

※稽古休み・8日(火)～12日(土) 大祭の為  
18日(金) 主催大会前日準備の為

#### ○ 大会・審査会

- 13日 四地区講習会(一般・上尾)
- 20日 段位審査会(初段～三段・大宮)
- 28日 第41回近県剣道大会(小中代表・古河)

#### ○ 受入行事

- 12日・13日 第163回秋季大祭(解脱会)





# ★ 全 国 大 会 ★

## ◎全日本少年少女武道大会（東京都）

小学団体 解脱A

優秀賞（優勝） 5年ぶり4回目

先峰 大西 尊 （小5）

次鋒 内村 日向 （小5）

中堅 谷口 美月 （小6）

副将 小嶋 紅音 （小6）

大将 栗原 千裕 （小6）

補員 小嶋 隼斗 （小5）



## ◎全国道場少年剣道大会（東京都）

中学団体 解脱

コート優勝・全国ベスト16

先鋒 泉 英太 （中2）

次鋒 鈴木 悠誠 （中1）

中堅 新井 康平 （中3）

副将 谷口 直仁 （中3）

大将 伊藤 勇太 （中3）

補員 土肥 秀斗 （中2）

補員 新井 雄大 （中1）



## ★ 富山県ジュニア選手団来館 ★

昨年に富山県剣道連盟より依頼があり富山県ジュニア剣道強化の講師、並びに受け入れ団体として田中宏明館長、解脱錬心館が推挙され、平成24年から26年の3年間（年に1回、田中館長が富山県にて指導し、もう1回は錬心館にて富山県ジュニア強化選手合宿）事業を受け入れ、今回は2年目、8月22日～23日に富山県ジュニア選手団が来館され、初日は錬心館門下生と合同稽古をし、最終日は埼玉県道場連盟選抜選手にも参加頂き、試合稽古を行い充実した2日間となりました。



## ～ お 知 ら せ ～

祝

この度、全日本剣道連盟より推挙され館長田中宏明先生が全日本東西対抗剣道大会に出場される事が決まりました。誠におめでとうございませす。(平成25年9月15日・山梨)



☆昇段おめでとうございます-----  
六 段 片岡 祥子(一般)

—平成25年8月取得分—

☆入門おめでとうございます-----  
はら まさよし  
原 全良(一般)

### ～ 錬心館よりお知らせ～

専従職員の小二田紀一さんが、解脱会の人事異動により7月1日付で錬心館から御霊地管理部に移動する事になりました。つきましては、事務所の業務時間を5時迄と致しますが、**5時以降につきましては指導者にて対応致します**ので、遠慮なくお声掛け下さい。尚、少年部の稽古欠席については、必ず5時までに連絡して下さい。 解脱錬心館

### ☆大会通信

6月

- ★第1回埼玉県少年低学年剣道錬成大会  
第3位 関根・高野・済藤
- ★第58回知事杯争奪近県剣道大会  
小学混成・敢闘賞 岡部・大泉・加藤・鈴木・新井
- ★山岡鐵舟第9回少年剣道錬成大会  
低学年の部・準優勝 関根・池田・高野・柳・済藤
- ★全国大会高校男子県予選会  
優勝 本庄第一高校 田中・梓澤インターハイ出場
- ★蔵の街剣志会創立25周年記念剣道大会  
中学生団体 準優勝 泉・鈴木・新井・谷口・伊藤

7月

- ★埼玉県実業団剣道大会  
4段以上の部・第3位 小林竜也先生
- ★境町近県剣道大会  
中学生団体・準優勝 泉・鈴木・新井・谷口・伊藤  
低学年団体・準優勝 関根・高野・済藤
- ★第61回学校総合体育大会中学校剣道大会  
中学生男子団体戦 北本中 準優勝 関東大会出場  
泉・鈴木・新井康・谷口・伊藤・土肥・新井雄  
中学男子・女子個人戦  
第3位 伊藤勇太(中3) 関東大会出場  
ベスト8 新井康平(中3) 小林洋菜(中3)

8月

- ★全国高等学校剣道大会  
ベスト16 本庄第一高校 田中・梓澤
- ★関東中学校剣道大会 北本中男子  
ベスト16 泉・鈴木・新井康・谷口・伊藤・土肥・新井雄
- ★武蔵野旗争奪中学校剣道大会 北本中男子  
第三位 新井・林・土肥・鈴木・泉・若松・大泉

### 編 集 後 記

錬心館も後期に入りました。まだまだ残暑も厳しいですが道場には再び子供達の元気な掛け声が戻ってきました。

さて、日本武道館で開催されました夏の全国大会では、大目標の日本一には届きませんでした。子供達は剣道の「朝鍛夕錬」の教えを守り努力を重ねてきたと思います。やはり結果が全てではなく夢に向う努力と反省が大切なのであり、中学3年生はこれで終わりではない、剣道を通しての人生修行は、まだまだ始まったばかりである。そんな私自身も同じであるがお互いに後期も益々の努力精進し頑張りましょう！(Y)

## けん おし 剣 の 教 え 80

～ われいがいみな し なり  
我以外皆師也 ～

館 長 田中 宏明

### 目的と目標

◆記録的な猛暑が続いた夏休みも終わり、集中豪雨等の心配を残しつつも二学期が始まり、同じくして後期の通常稽古も始まった。この夏、門下生諸君は多くの体験を通して沢山の事を学び感じ取ってくれたことと拝察する。夏休みに限らず、一日一日の生活を大切に、その中で得た学びを明日の自分に、そして未来の自分の為に活かしてもらいたいと願うものである。◆錬心館もこの夏、大きな目標である全国大会に臨み、小学生が全日本武道大会で5年ぶりの優秀賞(優勝)を獲得したが、続く全国道場少年剣道大会では、まさかの二回戦で敗退してしまった。同じく中学生は昨年同様、全国ベスト16で涙を飲んだ。更に今年は、私の故郷である佐賀県でインターハイが開催され、丁度母の七回忌でインターハイに併せて帰郷し、埼玉県代表で出場したOBの試合も観戦することが出来た。残念ながら、これもベスト16で涙を飲んだが、全力で戦うOBの先輩達の姿を嬉しく又頼もしく観させてもらった。◆試合に出れば、誰もが優勝を目指して頑張る。しかし、どんな大会でも勝者は一人(1チーム)で、後はすべて敗者となる。それでも勝利至上主義と云われる現在、勝ち善で負け悪という受け取り方が、根強く存在するように見受けられる。勝負には「立派な勝ちと悪い勝ち」「立派な負けと悪い負け」の四つがあり、当然、立派な負けは褒められ、悪い勝ちや負けは剣道の本質から離れ、自身の将来の剣道にも悪影響を及ぼし、剣道の目的である人間形成の道からも大きく離れていくからである。剣道に限らず何事においても、修行の途中で結論が出るものではない。大切な事は、目標をしっかりと定め、その為にどれだけの努力をしてきたか？この自己反省の積み重ねこそが道の修行であり、今日の勝ち負けだけで結論が示されるものでは決してない。◆背筋が伸びていない、相手と気を合わさない。待ってばかりで、苦しくなるとすぐ引いてしまう。避けてばかりで、捨て身も残心も取れない剣道では、たとえ勝負に勝っても剣道から多くの事は学べない。勝利は、あくまでも稽古の目標であり、剣道の目的ではない。目標の先に目的があり、そこをしっかりと見据えながら日々精進したいものだ。◆「反省」とは、振り返りながら前に進むことだと教わった。「私」を振り返ると、そこには父と母が、祖父母が、家族がいる。日本と云う国があり、愛する故郷がある。師があり、共に学ぶ仲間がいて「私」を支えてくれる多くの存在、社会がある。常に、ここを振り返りながら前に進む。それが剣道であり、剣道の目指す人間形成の道であると確信する。簡単に言えば「親孝行で感謝の心を知り、謙虚で何事も最後まで諦めずに頑張れる子」こんな子供達を育てるのが剣道であり、我が解脱錬心館の目的である。その為に、あえて道場日本一という高い目標を掲げ、全力を尽くすのだ。